

掲載開始:2018年3月1日

研究利用管理番号	1701001
----------	---------

研究内容の説明文

さい帯血提供者説明 用課題名 (括弧内は申請課題名)	拒絶反応を起こしにくい HLA 型のさい帯血から医療用 iPS 細胞ストックを製造するための研究 (高頻度 HLA ホモ接合体さい帯血由来の医療用 iPS 細胞ストック構築に関する研究)
研究期間	2013年7月12日から 2023年3月31日まで
研究機関名	京都大学 iPS 細胞研究所
研究責任者職氏名	山中 伸弥

研究の説明

1 さい帯血・情報の利用目的及び利用方法(他機関へ提供される場合はその方法含む。)

京都大学 iPS 細胞研究所(以下、CiRA)では、さい帯血バンクで保管されているさい帯血の内、さい帯血移植用に保存され供給されなかったさい帯血の中から拒絶反応を起こしにくい HLA 型のさい帯血より再生医療などの細胞移植治療に適した iPS 細胞を作製し、国内外の研究機関・医療機関に配布し、不特定多数の患者さんの治療に使用することを目的としています。

なお、研究にさい帯血を使用する場合は、本研究への協力について説明し、同意が得られた方のさい帯血のみを研究に使用します。

また、さい帯血から作製した iPS 細胞は移植研究等を行う研究機関や医療機関へ配布する予定ですが、配布先の各研究機関にて別途研究計画を立て、国の指針などに基づく審査を受け承認された研究にのみ使用されます。

2 さい帯血バンクから提供される試料・情報の項目

[試料]調製済みのさい帯血、保存検体(さい帯血血漿、さい帯血血液細胞、さい帯血 DNA)

[情報]母の感染症検査結果、さい帯血感染症検査結果、採取施設、採取年月日、HLA 型、性別、血液型、当該細胞の輸送の経過、採取に係る作業の経過記録等

3 さい帯血等を使用する共同研究機関及びその研究責任者氏名

上記1に記載のとおり、移植研究等を行う研究機関や医療機関に配布する予定ですが、現時点で提供先機関は決まっていません。随時、CiRA ホームページにて提供先を公開しますので、こちらをご確認ください。

○CiRA ホームページ「再生医療用 iPS 細胞ストックプロジェクト」

<http://www.cira.kyoto-u.ac.jp/j/research/stock.html>

4 さい帯血提供者又はその代理人の求めに応じて、さい帯血提供者が識別されるさい帯血・情報の利用または他の研究機関への提供の停止について

この研究でさい帯血を使用するにあたり、さい帯血の提供者の方へ、この研究への協力について説明し、同意を取得いたします。いったん研究参加に同意いただいた後でも、不利益を受けることなく、文書により同意を撤回することができます。

もしもさい帯血から医療用 iPS 細胞が作製された後に同意を撤回される場合は、その iPS 細胞を含むすべての細胞と情報が破棄されます。

5 4のさい帯血提供者又はその代理人の求めを受け付ける方法

まずは、下記へご連絡いただき、後ほど同意撤回文書を CiRA まで提出ください。

〔お電話の場合〕 iPS ストックドナー専用ダイヤル 075-366-7181

〔メールの場合〕 ips-stock@cira.kyoto-u.ac.jp

〔受付時間〕 平日 10:00～17:00

本研究に関する問合せ先

所属	京都大学 iPS 細胞研究所 医療応用推進室
担当者	高須 直子／松永 亜佑美
住所	京都市左京区聖護院川原町 53
電話	075-366-7008
Mail	ips-promotion@cira.kyoto-u.ac.jp

掲載開始:2020年4月24日

研究利用管理番号

1901001

研究内容の説明文

さい帯血提供者説明 用課題名 (括弧内は申請課題名)	新しい凍害保護液が移植用さい帯血の保存に使用できるか確認するための研究 (新規臍帯血凍害保護液の有用性に関する検討-解凍後の幹細胞回収率の向上等を目指して-)
研究期間(西暦)	2020年3月～2022年3月
研究機関名	日本赤十字社 近畿ブロック血液センター
研究責任者職氏名	製剤部 製剤部長 木村 貴文

研究の説明

1 研究の目的・意義・予測される研究の成果等

提供していただいたさい帯血は、移植に使用されるまでの間、液体窒素の中で凍結保存をしています。さい帯血を凍結する際に、細胞を保護する目的で凍害保護液をさい帯血に加え凍結しています。

凍害保護液の中に含まれている人工多糖体デキストランという物質により、さい帯血移植を受けた患者さんに悪心、嘔吐といった副作用が稀に起こる場合があります、人工多糖体デキストランを含まない新しい凍害保護液を用いた凍結保存方法の確立が求められています。

本研究では、従来の凍害保護液を使用して凍結保存したさい帯血と、新しい凍害保護液を使用して凍結保存したさい帯血の幹細胞機能(有核細胞、CD34陽性細胞及びコロニー形成細胞の各回収率)について比較し、新しい凍害保護液が移植用さい帯血の保存に適しているか確認します。

新しい凍害保護液が使用できるようになれば、より安全で高品質な移植用さい帯血を提供することが可能となります。

2 使用するさい帯血等の種類・情報の項目

さい帯血等の種類:調製保存されないさい帯血

さい帯血等の情報:なし

3 さい帯血等を使用する共同研究機関及びその研究責任者氏名

共同研究機関はありません。

4 研究方法《さい帯血等の具体的な使用目的・使用方法含む》

さい帯血等のヒト遺伝子解析: 行いません。 行います。

《研究方法》

細胞数不足等の理由により調製保存されないさい帯血を使用して、従来の凍害保護液で凍結保存したさい帯血と新しい凍害保護液を使用して凍結保存したさい帯血の幹細胞機能(有核細胞数、

CD34 陽性細胞数、コロニー形成細胞数等)を比較します。新しい凍害保護液を使用したさい帯血が、従来の凍害保護液を使用したさい帯血と同等もしくはそれ以上の結果が得られるか確認し、移植用さい帯血の保存に使用可能かどうか検討します。

5 さい帯血等の使用への同意の撤回または研究使用の停止について

研究に使用される前で、個人の特定ができる状態であれば同意の撤回及び研究使用の停止が出来ます。

6 上記5を受け付ける方法

日本赤十字社北海道さい帯血バンクへさい帯血を提供され、同意の撤回もしくは研究使用の停止を希望される方は当さい帯血バンクまでご連絡下さい。

電話:011-613-8765

本研究に関する問い合わせ先

所属	日本赤十字社 近畿ブロック血液センター 製剤部
担当者	木村 貴文
電話	072-643-1021
Mail	t-kimura@kk.bbc.jrc.or.jp

掲載開始:2020年3月1日
一部更新:2021年4月13日

研究利用管理番号

1901002-02

研究内容の説明文

さい帯血提供者説明用 課題名 (括弧内は申請課題名)	輸血用の凝集塊除去フィルターがさい帯血中の凝固(凝集)を取り除くために有効かを確認するための検討 (臍帯血受入時における輸血用凝集塊除去フィルターの有用性に関する検討)
研究期間(西暦)	2019年8月～2022年3月
研究機関名	日本赤十字社 関東甲信越ブロック血液センター
研究責任者職氏名	製剤一部 製剤三課長 峯元 睦子

研究の説明

1 研究の目的・意義・予測される研究の成果等

さい帯血を移植用を使用するためにはさまざまな条件を満たす事が必要で、そのひとつに凝固(凝集)がないことという条件があります。

移植用として使用するために必要な細胞数などの条件は満たしているが、凝固(凝集)があるために移植用とならないさい帯血に輸血用凝集塊除去フィルターを使用して凝固(凝集)を取り除く事ができれば、移植用さい帯血として利用することができることから、保存数を増やす事ができます。

2 使用するさい帯血等の種類・情報の項目

さい帯血等の種類:調製保存に至らないさい帯血

さい帯血等の情報:なし

3 さい帯血等を使用する共同研究機関及びその研究責任者氏名

共同研究機関はありません。

4 研究方法《さい帯血等の具体的な使用目的・使用方法含む》

さい帯血等のヒト遺伝子解析: 行いません。 行います。

《研究方法》

凝固(凝集)が認められた移植用にならないさい帯血を輸血用凝集塊除去フィルターに通し、凝集(凝集)が除去されるかを確認します。また、当該フィルターを使用する事による影響(細胞数や増殖能力が低下しないかなど)について確認します。

5 さい帯血等の使用への同意の撤回または研究使用の停止について

研究に使用される前で、個人の特定ができる状態であれば同意の撤回及び研究使用の停止が出来ます。

6 上記5を受け付ける方法

日本赤十字社北海道さい帯血バンクへさい帯血を提供され、同意の撤回もしくは研究使用の停止を希望される方は当さい帯血バンクまでご連絡下さい。

電話:011-613-8765

本研究に関する問い合わせ先

所属	日本赤十字社 関東甲信越ブロック血液センター 製剤一部 製剤三課
担当者	峯元 睦子
電話	03-5534-7546
Mail	m-minemoto@ktxs.bbc.jrc.or.jp